

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度:2021年度 調査実施年度:2022年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
経法学部	1	環境法Ⅰ(前期)およびⅡ(後期)	(1)	2	経法学部総合法律学科	小林寛	環境法の歴史、理念・原則、環境政策の手法、環境影響評価制度、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、廃棄物処理法制度、自然公園法、気候変動問題などの環境法に関する諸テーマを解説した。
	2	環境法務実習	(1)	3	経法学部総合法律学科	小林寛	大学で学んだ環境法学が社会における業務の現場(行政、法律事務所、民間企業)においてどのように運用されているのかということを実践的に学習した。
	3	国際環境法	(1)	3	経法学部総合法律学科	小林寛・三好規正・横濱和弥	国際法の基本的な考え方並びに条約・国際慣習法を中心に形成されてきた国際環境法の基本原則及び各論(気候変動、オゾン層破壊、有害廃棄物の越境移動等)を概説した。
	4	環境と憲法訴訟	(1)	3	総合法律学科	成澤孝人	日本国憲法における環境権について、憲法訴訟論の中で、その意義を解説した。
	5	国際政治	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	国際社会の課題、グローバルイシューズについて学ぶ。SDGsは課題解決へ向けた重要な国際的な目標と位置付けられる。
	6	Global Political Economy	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	グローバルイシューズについて主に英語を使用して学ぶ。SDGsは重要なテーマの一つ。
	7	国内グローバル研修(白馬研修)	(1)	2,3,4	経法学部	美甘信吾	地域の自然環境を活かした地方創生、観光業・インバウンドについての現地(白馬)研修(1日)。
	8	環境法入門	(1)	1	共通教育(全学教育機構)	三好規正	新入生向けの授業として、環境法の理念・原則、大気汚染、水質汚濁、廃棄物処理、自然保護、地球温暖化など、様々な分野の基本的な法制度について講義した。
	9	環境と刑法	(1)	3・4	総合法律学科	横濱和弥	公害、環境関係の行政取締規則、動物愛護、原子力といった環境に関わる刑罰法規について検討した。また、過失犯や両罰規定といった、環境犯罪の処罰に関わる一般刑法上の理論も扱った。
	10	国際環境法	(1)	3・4	総合法律学科	小林寛、三好規正、横濱和弥	環境保護に向けられた国際法の諸概念および内容について担当した。各教員が5回ずつ講義を担当し、横濱は最初の5回(一般国際法の基礎)を担当した。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度:2021年度 調査実施年度:2022年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
人文学部	1	環境エネルギー政策論	(2)	1~4	全学教育機構	茅野恒秀	世界および日本で進められているエネルギー転換の動向をふまえ、国際レベル、国全体、そして地方のレベルにおける環境エネルギー政策について学習。
	2	社会学特論Ⅳ	(1)	2~4	人文学部人文学科	茅野恒秀	地域社会の生活基盤をなす自然資源・文化資源をめぐる諸問題を中心に、現代地域社会における地域資源管理の諸問題を理解。
	3	社会学研究Ⅱ(環境・地域社会学)	(1)	大学院	総合人文社会科学 研究科	茅野恒秀	環境社会学、地域社会学の領域における代表的な実証研究の蓄積を俯瞰し、研究対象の選定と主題の構成の相互関係、また実証と理論の相互関係について経験的に理解。
理学部	1	グリーンサイエンス通論Ⅰ	(2)	1	理学部・化学科	オムニバス	グリーンサイエンスの内容を担当し、化学物質による環境汚染を防止し、人体や生態系への影響を最小限に抑えることを目指した化学についての講義を行った。
	2	分析化学実験	(1)	2	化学コース	巽広輔・高橋史樹・金継業	実験で出る廃液の環境への影響について説明し、その適切な処理方法について指導した。
	3	グリーンサイエンス通論Ⅰ	(1)	1	数学科、物理学 コース、化学コース、 地球学コース、 生物学コース、物	巽広輔ほか	環境分析のいくつかの項目を取り上げ、その測定法を解説した。
	4	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	5	物理化学Ⅱ	(1)	2	理学部化学コース	飯山拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
	6	物理化学Ⅲ	(1)	3	理学部化学コース	飯山拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
	7	物理化学実験	(1)	3	理学部化学コース	飯山拓、浜崎亜富、二村竜祐	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度:2021年度 調査実施年度:2022年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	8	物理化学 I	(1)	2	理学科・化学コース	浜崎 亜富	量子化学・光合成反応を絡めた環境についての講義
	9	化学実験	(1)	1	理学部理学科	石川厚 浜崎亜富 ほか	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	10	グリーンサイエンス通論2	(1)(2)	2	理学部	複数	グリーンサイエンスに関係する内容を6名の教員が分担して講義する
	11	地球史学	(1)	2	地球学コース	吉田孝紀	地球環境の変遷を教える
	12	地学概論 I	(1)	1	理学部・農学部	吉田孝紀	地球環境の成り立ちを教える
	13	生きものたちのふしぎ・多様性ゼミ	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	東城幸治	生物の系統や進化・環境との関わりについてディスカッションを実施する。
	14	系統分類学	(1)	1	生物学コース	東城幸治	地球上に生命が誕生してからの約41億年間、生物はどのように進化・多様化してきたのか？ その環境との関わりや適応について、プロセスを理解するとともに系統進化プロセスを反映させた分類体系を理解する。
	15	生物学実験	(1)	1	理学科	高橋耕一	生物多様性の評価方法の習得のための植生調査と多様性指数の計算方法に関する実習。
全学教育機構	1	生物と環境	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	今津道夫	生物と環境の関わり合いや環境問題についての講義
	2	環境保全論入門	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	浅野郁	現在国内外で問題となっている幅広い環境問題に関する知識を習得し、自身の考えを述べられるように情報を収集し分析する能力を養う授業。
	3	生物多様性保全ゼミ	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	浅野郁	生物多様性に関する正確な知識の習得し、信州地域・日本国内で現在問題となっている生物多様性関連の問題と対策について調査・発表・議論するゼミ。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度:2021年度 調査実施年度:2022年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育機構	4	環境マネジメント入門ゼミ	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	浅野郁	環境マネジメントシステムや環境内部監査のポイントなどの基礎知識を習得し、現在企業や大学で行われている環境への取り組みを調査・発表・議論するゼミ。
	5	ネイチャーライティングのすすめ(環境文学Ⅰ)	(1)	全	全学, 高等教育コンソーシアム信州 遠隔配信	松岡 幸司	「ネイチャーライティング」を含む「環境文学」という文学ジャンルの視点, および作品を紹介し, そこに現れる自然・環境意識を「心でとらえる」学びを通して, 「環境マインド」の育成を促進した。
	6	環境文学のすすめ(環境文学Ⅱ)	(1)	全	全学, 高等教育コンソーシアム信州 遠隔配信	松岡 幸司	「環境文学」という文学ジャンルの視点, および作品を紹介し, そこに現れる自然・環境意識を「心でとらえる」学びを通して, 「環境マインド」の育成を促進した。
	7	ドイツのエネルギー転換をドイツ語で読むゼミ	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	松岡 幸司	ドイツのエネルギー転換に関するテキストをドイツ語で読むことを通して, 環境政策についての理解を原語で深める学びを行い, 「環境マインド」の育成を促進した。
	8	自然環境行政概論	(1)	全	共通教育 (全学教育機構)	坂本真一	我が国の自然環境行政について、課題やそれに対する取組等について講義を行った
	9	環境リーダーシップ入門ゼミ	(1)	全	共通教育 (全学教育機構)	坂本真一	多くの人と連携して環境問題に取り組んでいけるような人材の育成を行うため、演習課題を課して学習していった。
	10	環境社会学入門	(2)	1	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎	本講では、環境社会学の理論的思考や実践的研究方法を学んだ上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができることを目標とします。
	11	熱帯雨林と社会	(2)	1	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎	熱帯産の食料や資源などを事例に、それらの大量移動に伴う影の問題や現地社会と私たちが抱える現代的課題について考えます。
	12	生態資源論ゼミ	(2)	1	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎	生態資源とは、人とともに存在し生きてきた資源を指します。県内の生態資源を事例とし、それらの利用の歴史と現状、展望を探ります。
	13	環境マインド実践基礎論	(2)	1	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎・坂本真一・江川信	環境分野の幅広い課題の基礎知識を身につけ、特に国際社会の共通の目標であるSDGsや、持続可能な循環共生型の社会構築を意識して、課題解決の考え方を学びます。
14	アジア開発環境論ゼミ	(2)	1	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎	『アジア環境白書』シリーズを手掛かりとして、アジアの開発と環境をめぐる「いま」を読み解いていきます。「持続可能な開発」概念を問い直し、私たちに求められている「かわり」を議論します。	

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度:2021年度 調査実施年度:2022年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全学教育機構	15	環境マインド実践ゼミⅠ	(2)	2	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎・坂本真一・江川信・柘津栄治	全学横断特別教育プログラム「環境マインド実践人材養成コース」の専用科目。長野県内の企業や行政、NPO等へのインタビューを行い、SDGsのゴールとの関連を討議します。
	16	環境マインド実践ゼミⅡ	(2)	2	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎・坂本真一・江川信	全学横断特別教育プログラム「環境マインド実践人材養成コース」の専用科目。マレーシアでの実習旅行に向けて、参加型農山村調査法や環境マネジメントに関する英語を学びます。
	17	環境マインド実践ゼミⅡ	(2)	3	共通教育 (全学教育機構)	金沢謙太郎・坂本真一・浅野郁・江川信・柘津栄治	全学横断特別教育プログラム「環境マインド実践人材養成コース」の専用科目。県内での実習旅行に向けて、参加型農山村調査法や環境マネジメントを学びます。
	18	環境社会学概論	(2)	3	経法学部	金沢謙太郎	本講では、環境問題、環境文化、環境行動の3つの領域における問題群から、具体的事例に基づいて考えていきます。
	19	日本国憲法	(1)	全	共通教育 (全学教育機構)	小池洋平	日本国憲法を素材として、法的環境および政治的環境について概説した。
	20	現代社会における人権	(1)	全	共通教育 (全学教育機構)	小池洋平	現代社会における人権問題を素材として、法的環境と政治環境で生じている問題を人権の視点からいかに解決すべきかを解説した。
	21	現代社会における統治機構	(1)	全	共通教育 (全学教育機構)	小池洋平	現代社会における統治に関わる憲法問題を素材として、政治環境で生じている問題を法的にいかに解決すべきかを解説した。
	22	自然環境と文化		全	共通教育 (全学教育機構)	分藤大翼	人類学的な知見にもとづいて、自然環境と密接に関わりながら生きている人々の文化を紹介し、自然環境と私たちとの関わり方について考えている。
	23	トレッキング1	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	廣野・加藤	「信州の自然体感」をテーマに、自己の身体を再確認し、運動の重要性の認識と生涯学習への導入を図るとともに、信州の自然環境を体感することにより環境問題についての理解を深める授業。
	24	アウトドアの達人	(1)	1	共通教育 (全学教育機構)	古屋・加藤	乗鞍高原をフィールドとして、夏・冬を通じた地形や季節の特色を活かしたアウトドア活動を実施。学生それぞれが自然との関わりを持つソロ活動も取り入れている

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

(対象年度:2021年度 調査実施年度:2022年度)

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
医学部	1	健康科学・理論と実践		1	共通教育・1年 (全学教育機構)	塚原照臣	地球環境の変化(主に温暖化)と私たちの健康への影響について理解を深め、自らがどう対処していくかを習得することを目的に授業を行った。
	2	衛生学公衆衛生学演習 環境医学概論 実習I		3	医学部医学科	野見山哲生	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。
	3	衛生学公衆衛生学演習環境医学の実際1,2 実習I		3	医学部医学科	塚原照臣	環境要因と健康影響について授業を行った。
	4	ユニット講義(臨床決断・社会医学)環境医学のトピック		3	医学部医学科	大前和幸	環境保健におけるトピクスを通じて、健康と環境の関係について概略について授業を行った。
	5	ユニット講義(臨床決断・社会医 5学)子どもの健康と環境に関する全国調査		6	医学部医学科	野見山哲生	エコチル調査の概要を理解し、環境要因と子どもの成長・発達について授業を行った。
	6	社会環境人間健康学概論		1	大学院修士課程	野見山哲生他	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。
	7	私たちと放射線	(1)(2)	全	共通教育 (全学教育機構)	廣田昌大	放射線の基礎知識自然界の放射線、放射線利用、健康への影響、放射線リスクとその管理等について基礎からやや専門的情報を共有する。
	8	看護学概論	(1)	1	保健学科・看護学専攻	小林千世	環境問題と健康の関連対象と環境とのかかわりを理解する
	9	看護学方法論	(1)	1	保健学科・看護学専攻	小林千世	健康を維持するために環境を整える方法を理解する
	10	成人看護学概論	(1)	2	保健学科・看護学専攻	新井清美	成人を取り巻く今日の状況および健康への影響として環境問題、労働環境に関する授業を行った。